

下水道管路施設調査報告書記載要領

1. 一般事項

- (1) 報告書は、本要領に従い、作成すること。
- (2) 様式は A4 判横書きとし、図面は、縮尺、寸法を明記し、製本すること。
- (3) 表紙は、調査年度、調査番号、調査件名、調査期間、発注者名、受注者名等を記入する。
また、背表紙にも調査年度、調査番号、調査件名、受注者等を記入すること。

2. 記載事項

報告書は、下記の事項について、内容を明記すること。

(1) 本管テレビカメラ調査

- ①調査目的
- ②調査概要
- ③案内図
- ④調査箇所図
- ⑤調査総括表（表－１）
- ⑥調査集計表（表－２）
- ⑦調査記録表（表－３，４）
- ⑧考察
- ⑨調査記録写真

(2) 目視調査

本管テレビカメラ調査項目に準ずる。

(3) 取付管調査

本管テレビカメラ調査項目に準ずる。

表-1 調査総括表

No.

[illegible]

表-2 調查集計表

No.

[illegible]

表-3 本管用調査記録表

No.

[illegible][illegible]

注1 考察欄には、管路施設の損傷状況に加え、道路交通概況生活環境概況、近接工事、損傷原因、損傷の進行性、損傷の新旧等について記述すること。

注2 計()内の数値は、スパン全体で評価する「管の腐食」、「上下方向のたるみ」、清掃等で除去可能な「樹木根の侵入」及び「取付管の突出し」を除いたものである。

表－４　ます及び取付管用調査記録表

																		No.																					
上流マンホール				区画		メッシュ		番号		枝																				下流マンホール		区画		メッシュ		番号		枝	
ます 番 号																																							
調査距離(m)																																							
管 本 数																																							
左側	内 容	ま　　す																																					
		取付管内																																					
		取付管管種																																					
		取付管管径																																					
		写 真 番 号																																					
																												DVD番号				〔　　巻〕							
																												カウンター番号				〔　　〕							
ます 番 号																																							
調査距離(m)																																							
管 本 数																																							
右側	内 容	ま　　す																																					
		取付管内																																					
		取付管管種																																					
		取付管管径																																					
		写 真 番 号																																					
考　　察																																							

ます		異常内容												ます蓋・受け枠												側　　塊																							
異常箇所		蓋違い・ガタツキ			蓋の破損・劣化			蓋の摩耗			蓋裏錆			腐食			破損			クラック			側塊・ズレ			浸入水			樹木根の侵入																				
		A	B	C	A	B	C	a	b	c	a	b	c	a	b	c	a	b	c	a	b	c	a	b	c	a	b	c	a	b	c																		
		左　　側																																															
		右　　側																																															
		計																																															
異常内容		底　　塊												取付管側						宅内側						ます　計			備　　考																				
異常箇所		腐食			破損			クラック			底塊・ズレ			浸入水			樹木根の侵入			油脂・モルタル・土砂等の堆積			インパートの状況			管口のズレ						管口のズレ			A・a	B・b	C・c												
		A	B	C	A	B	C	a	b	c	a	b	c	a	b	c	a	b	c	a	b	c	a	b	c	a	b	c	a	b	c	A・a	B・b	C・c															
		左　　側																																															
		右　　側																																															
		計																																															

取付管		異常内容												管の腐食			上下方向のたるみ			管の破損			管のクラック			管の継手ずれ			浸入水			取付管の突出し			油脂の付着			樹木根の侵入			モルタル付着			取付管　計			備　　考		
異常箇所		a	b	c	a	b	c	a	b	c	a	b	c	a	b	c	a	b	c	a	b	c	a	b	c	a	b	c	a	b	c	a	b	c	A・a	B・b	C・c												
		左　　側																																															
		右　　側																																															
		計																																															

注1 考察欄には、管路施設の損傷状況に加え、道路交通概況生活環境概況、近接工事、損傷原因、損傷の進行性、損傷の新旧等について記述すること。

注2 計()内の数値は、スパン全体で評価する「管の腐食」、「上下方向のたるみ」、清掃等で除去可能な「樹木根の侵入」及び「取付管の突出し」を除いたものである。